

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや
ちくさ
WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 千種区池下一丁目4番18号
井上ビル4F D号
Tel 763-5110
会長 水野民也

No.39 (1982~1983)

MANKIND IS ONE-
Build Bridges of Friendship
Throughout the World

人類はひとつ
世界中に友情の橋をかけよう
1982~83年度RI会長 向笠広次

第39回例会 昭和58年5月24日(火)晴

職場例会中日シネラマ会館にて

◇“奉仕の理想”

◇出席報告

会員 47名 出席 35名
出席率 74.47%

◇前回 5月17日(修正出席率) 97.87% make up

橋本君(5/21守山), 加藤(大)君(5/17東京北), 松居敬二(5/17名東), 宮尾君(5/19東南), 大谷君(5/18名北), 尾関君(5/19東南), 斉藤君(5/23中), 佐野君(5/14守山), 笹野君(5/19東南), 菅原君(5/20北), 鈴木(猛)君(5/13北), 谷口君(5/20港), 寺澤君(5/13北), 鶴飼君(5/19瑞穂), 山村君(5/23東)

◇ビジター紹介 4名

◇ニコボックス

谷口君(京都旅行, 楽しく過ごさせて頂きありがとうございました), 菅原君(ホームクラブ欠席多くて申しわけありません。又京都旅行では家内がお世話になりました), 石田君(誕生日祝), 橋本君(結婚記念祝), 古川君(結婚記念祝), 大口君(結婚記念祝), 佐野君(結婚記念祝), 堀場君(結婚記念祝)

◇松居幹事報告

1. 次週例会終了後, 理事会を行いますので今年度・次年度の理事役員の方はお残り下さい。

◇社会奉仕鈴木(猛)委員長報告

先日当クラブより名古屋市厚生院にブロンズ像を寄贈した件につきまして本山政雄名古屋市長より, 又市内14RC合同で早咲さくらを寄贈した件につき, 名古屋市東山総合公園事務局より各々感謝状をいただきましたのでここに披露して御報告申し上げます。

◇水野(民)会長挨拶

第39回の例会が古川副会長の職場で開催できますこと御礼申し上げます。このように会場の設営できることは大変幸せで結構なこと

ですが, 事情により可能でない場所も多々あると思いますのであまり重く考えなくともよろしいかと存じます。

私自身, 映画に関係ができたのは九条武子の「無優華」を小学生の時観賞したのが始まりで, それ以後松竹座での「駅馬車」, 八重垣での「会議は踊る」, 名宝でのディアナダービンの「オーケストラの少女」, 「外人部隊」等の外国映画, 邦画においてはエノケンの「法界坊」, 尾上松之助の「目玉のまっちゃん」等が心に残ってしまっていて, 最近にいたっては生演奏付きの「ナポレオン」, 古川副会長の劇場で観た「エマニエル夫人」等が印象的でありました。本日もただ今より, 「南極物語」を観せて頂けるようで楽しみに感謝しつつあいさついたします。

◇講演

ヘラルド興業(株)映画興行部長・加藤潤一氏
日頃皆様には大変お世話になっております。本日はヘラルドグループのひとつ, ヘラルド興業(株)についてお話しさせていただきます。営業部門は映画興行部において映画劇場を6館経営しており, 事業部においてローラスケートリンク, ボーリング場, テニスコートなどを経営しております。

私どものヘラルドグループは古川社長の先駆者精神と共に常に新しい何かを求めて進んでまいりました。例えば昭和36年には日本では唯一のドイツ製70ミリ映写機を導入し映画業界をアッとさせたり, 39年には当地にはなかった総合レジャーセンターをオープンしたり常に若者の新しい遊び場として話題を集めてまいりました。

事業関係の分野でも時代の変遷の中で幾多の試練に直面し, ボウリング場を一時閉鎖した時もありました。が, 新しいレジャーの開発に努力を注ぎ, ローラスケートリンクのオ

ープンやボウリング熱の再来などにより相乗効果を狙う営業展開を志してきました。

一方映画興行も一人でも多くのお客様に足を運んでいただく為の工夫として入場料金半額デーを作ったりサービスしております。

この8月には名駅南に2劇場のオープン、サカエにフレッシュ感覚のカフェバーの構想など、ヘラルドグループはまだこれから新しい可能性に向けて邁進を致します。

◇大隈ガバナーより委嘱状を手交

当クラブの水野(氏)会長が、国際ロータリー第260地区1983~84年度のための地区協議会パネラー(職業奉仕部会)及び職業奉仕研究小委員会・小委員長に大隈ガバナーより委嘱され受諾いたしました。

◇第2会千種RC麻雀会成績報告

去る5月21日(土)、午後6時より第2回麻雀会が松楓閣において開かれました。総勢8名、久しぶりの内輪の会に腕ぞろいが集まり熱気が立ちこめる中、年輩層(?)が弱輩層に花を持たせる結果となりました。次回の麻雀会にも多数御参加をお待ちします。

(水野(賀)記)

——第2回麻雀会成績——

優勝	久保田 皓	38,100点
2位	安藤 銀之助	19,100点
3位	松居 敬二	6,500点
B. B	竹田 真三	—

トロント国際大会旅行出発間近

トロントでの国際大会もいよいよ開幕の日が近づいて参りました。御承知のとおり当クラブからもCRCトロントツアーとして御夫人を含め13名の参加者が6月4日(土)に旅立つ予定です。千種RCの代表として世界中に友情の輪を広げ、一生の良き思い出ツアーとなられますように!

◇CRCトロントツアー参加者

安藤君、林君、石田君、菊池君、黒野御夫妻、成田君、新美君(御子息と共に)、竹内御夫妻、和田御夫妻

◇職場訪問(親睦活動・職業奉仕委員会)

No.5 佐野 寛君 佐野工芸研究所主宰

昭和42年、安藤七宝店を退社し、作家生活に入った佐野寛氏は昭和52年、日展に「汀鳥」で特選。一躍、名声を博することとなる。あかね会(会員120名)、銀葉会(会員30名)を指導、東海地方彫金の中心である。光風会。会員賞。杉浦非水賞、明日を開く日本の新工芸展受賞2回、日展中日賞、日展入選20

回、無鑑査1回と受賞の枚挙にいとまがないが、現在、光風会、日本新工芸展の審査員、日展の会友である。昭和53年1月、NHKテレビ婦人百科(七焼宝)放映、今年6月に再度婦人百科に登場、彫金、鍍金のテキストの原稿書きに多忙の日々である。折も折、昭和58年度、愛知県芸術文化選奨文化賞を受賞、その作家活動の実力が高く評価されたことを裏付ける。日本工芸会の正会員として、人形作家として活躍中の暁子令夫人とのおしどり夫婦は評判である。4月21日国際ホテルで開催された佐野寛愛知県芸術文化選奨文化賞受賞祝賀パーティは鈴木青々氏をはじめ地元、文化人、財界人約300名が集い氏の受賞を祝った。「彫金をはじめて30年……」木訥とした口調のなかに明日への限りない制作意欲をかいまきた。

No.6 加藤 大豊君 中部圏開発株式会社

昭和42年、中部圏開発株式会社を設立、西浦シーサイドマリナーを有し(笹川良一氏の依頼を受け東海地域のモーターボートの発展に寄与)以来、愛知県モーターボート協会々長20年の要職にある。米国留学後19歳で全日本水上スキーのチャンピオンとなった長男己揮世氏と昭和52年(株)ヴァレンシアを設立、大豊氏の永年の知己と己揮世氏の若い感覚の協調によりシーボン化粧品の中京地区総販売元として、中部地区に多数の代理店、出張所、特約店をもつ。日本オリンピック委員会(J・O・C)の委員に就任して3期10年を迎える。クレー射撃を始めて30年、県射撃協会会長に就任して8年、射撃、モーターボートと近代リッチスポーツの最先端をゆく。後進の指導、育成についても夢は夢として現実の厳しさを冷酷に受けとめている。日本における国際大会開催の困難さも世界の状況を充分理解しているだけに余計に厳しいようだ。人生観は遠視しており悠々自適の心境とか。J・O・C委員には安齊氏をはじめ友好的仲間が多く、氏の発言力は強い。56年度名古屋体育協会副会長に就任、市がかける期待は大きい。本社ビル社長室は会議室兼用の広いワンルーム。己揮世氏を見つめる大豊氏の眼差しはやわらかい。(文責・菅原)

◇次回例会(5月31日)

卓話 “出版界の現状”
会員 谷口 暢宏 君
卓話 “動物とヒト(動物学的人間像)”
会員 寺沢 竹三郎 君

◇次々回例会(6月7日)

卓話 “医薬品談話”
会員 都築 勝彦君
卓話 “水について”
会員 鞆飼 一男君